

## 専門家派遣

### ASEAN+3 第 14 回 New and Renewable Energy (NRE) and Energy Efficiency and Conservation (EE&C) Forum に参加しました。

#### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、経済産業省の委託（新興国等におけるエネルギー使用合理化等に資する事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、2019年11月28日フィリピン（マニラ）で開催された ASEAN+3 第 14 回 New and Renewable Energy (NRE) and Energy Efficiency and Conservation (EE&C) Forum に参加し、日本の ASEAN に対する省エネ協力事業の現状を発表するとともに ASEAN 各国ならびに他支援国の活動の情報収集を行いました。



主要出席者集合写真



開会挨拶  
(右から ACE, ホスト国, METI)



ECCJ 発表

2019年11月28日フィリピン（マニラ）で開催された ASEAN+3 第 14 回 New and Renewable Energy (NRE) and Energy Efficiency and Conservation (EE&C) Forum に参加しました。カンボジア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、日本、中国、韓国の各国政府および ASEAN Centre for Energy (ACE)、ECCJ、日本エネルギー経済研究所 (IEEJ) より、計 47 名が出席しました。

- (1) ECCJ から AJEEP を中心に 2018 年度の成果と 2019 年度の計画を報告し、スキーム 2 の延長、ポストスキーム 2 の内容検討を継続するよう ACE からコメントがありました。
- (2) 経済産業省からは変動型再エネの導入状況と課題、水素基本戦略の策定、IEEJ からはスマートグリッド・マイクログリッドの普及促進、中国からは太陽光発電の普及に関する提言、韓国からはカンボジア、ラオス、ミャンマーに関する省エネ人材育成状況および水素経済ロードマップについての報告がありました。
- (3) ASEAN 各国からは省エネ・再エネに関する多くの事例が共有され、この分野における議論が深まりました。
- (4) 今後の本会議を継続することを確認し、来年度はシンガポールが開催国として推薦されました。

\*AJEEP : ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム